

音楽療法型 多機能事業所

奏かなで

(児童発達支援事業所 事業所評価)

		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	改善案
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等 スペースとの関係 で適 切であるか	10	0		利用が2名と少ないため、フロアをいっばいに活用できている。また、個別での支援も出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか	10			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4	1	ミーティングにて話し合いを行い、バリアフリー化出来るよう対応していく。
	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	1		目標管理シートの活用方法を研修などで学べる機会を持つ。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			

業務改善	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			今回、一年目で初の取り組み。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	2		要検討。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10				
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10				

適切な支援の提供	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択さ、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10				
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1			支援計画の勉強会を開催する。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2		活動プログラムは、児童の希望を踏まえつつ組んでいる。	活動プログラムは、チームでの立案も実施しているが今後も児童の様子を見つつ急な変更が出来るように柔軟に対応していく。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1			
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	10				

	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10				
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	1		業務の関係で当日行えない場合は翌日に必ず振り返りを行っている。	児発のみの保育士がいるため、終了後には必ずミーティングを実施し、様子の話し合いを行っている。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10				
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1			

関係機関や保護者との連携	②①	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	2		ネウボラ（子育て支援）と連携を行っている。	
	②②	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	7	2		医療ケア児は現在利用していない。
	②③	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	7	2		
	②④	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10				

関係機関や保護者との連携	②⑤	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	1	保育所から小学校へのタイミングでの移行支援、情報共有が出来ていない。	保育所などとの連携は取れており、情報は保育所から学校へのルートとなっているが、今後は小学校と直接情報共有ができる関係作りを行っていく。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1		福山地域児童発達支援連絡協議会	
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	2	1	ハロウィンイベントを通して交流	
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	2		福山市障がい者総合支援協議会	
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10				

	③0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6	2	2		要検討して実施していく。
	③1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	2			
	③2	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された	10				
	③3	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	110				
	③4	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	3			保護者会を今年度も開催するが、保護者会だけでなく参観日など気軽に保護者が集まれる機会を検討中

保護者への説明責任など	③⑤	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1		SNSを通して発信。行事によって会報を発行している。	
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			SNSを活用している。	

	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	1	1		出入り口に検温表を置いて検温しているため、場所の移動を検討
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10				
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	1		ハロウィンイベントを実施。	現在は、児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業の合同での企画のみであるが、児童発達支援のお子様に合わせた企画も計画していく。
	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	2		マニュアル等の説明は、契約時に管理者によって行っている。	保護者とともにの避難訓練は出来ていないが、想定した際の事業所の対応を説明する必要があると考え、家族会などで説明の機会を作っていく。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1			

非常時の対応	④②	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	1	6	3	予防接種の把握が完全でない。	予防接種を受けたなどの情報は連絡帳のみのため、記録表を作成し定期的に確認を行うようにしていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	6	2	現在、児童発達支援ではおやつを含めた食材の提供を行っていない。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10				
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10				
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	1		身体拘束の研修を実施し、流れの講習も行っているが、現在はまだ必要とされる児童がいない。	